

## プラスチックごみ発生抑制に関する取組状況および今後の方向性について

### 1 プラスチックごみ問題に関する現状

#### (1) 国内外の現状

- ・プラスチックごみは、河川等を通じて内陸から海へ流れ込み、生態系を含めた環境の悪化をもたらすほか、温室効果ガス排出量の増加の要因となる等、世界的に大きな課題となっている。
- ・課題解決に向け、国は令和元年5月「プラスチック資源循環戦略」を策定、令和4年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を施行。
- ・令和5年には、G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合およびG7広島サミットにおいて、大阪ブルー・オーシャン・ビジョンを10年前倒した「2040年までに追加的なプラスチック汚染をゼロにする野心」に合意するなど、国際的にプラスチックごみ問題解決に向けた機運が高まっている。

#### (2) 滋賀県のこれまでの状況

- ・滋賀県においても、プラスチックごみの河川・琵琶湖への流出等を通じた環境汚染等の課題が生じている。
- ・課題解決に向け、令和元年8月に、事業者、県民団体、行政を構成員とする「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」（以下、協議会という。）と県の連名で「滋賀プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言」を実施し、令和3年3月には、宣言を踏まえて、プラスチックごみ削減の取組内容を例示した「滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針」を策定。

### 2 プラスチックごみの発生抑制に関する令和4年度取組状況

#### (1) 第五次廃棄物処理計画の目標達成状況

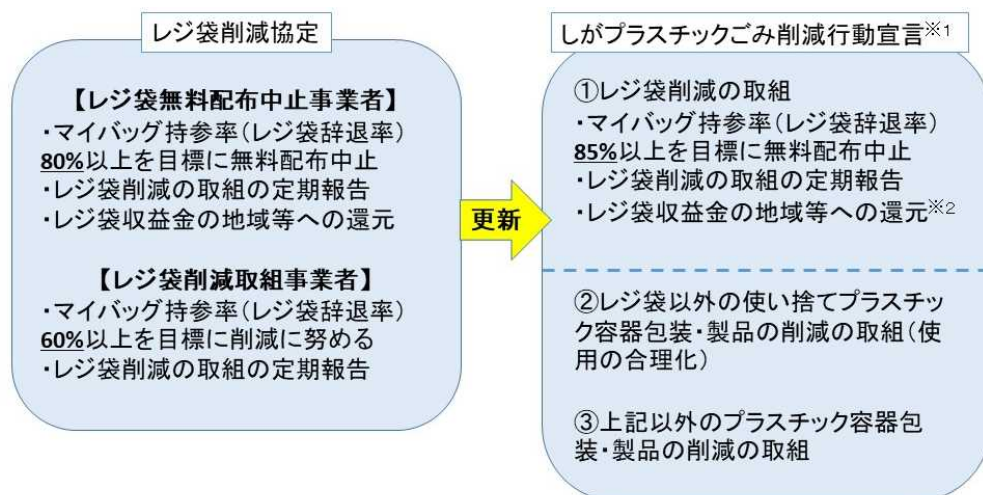
- ・プラスチックごみの発生抑制の推進に向けて、マイバッグの持参率（レジ袋辞退率）および県内のマイボトル使用可能な給水スポット数について、目標を設定している。
- ・目標達成状況は以下のとおり。

図表1 一般廃棄物（ごみ）に係る計画の「取組に係る目標」の状況

			実績値										五次計画 目標値
			計画期間										
			H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
プラスチックごみの発生抑制の推進	マイバッグ持参率 (レジ袋辞退率)	%	89.2	89.7	89.9	89.5	89.6	89.4	90.1	90.8	91.2	90.6	85以上 (計画期間中)
	県内のマイボトル使用可能な給水等スポット数	箇所			16	20	21	21	23	22	56	97	100

## (2) マイバッグ持参率向上（レジ袋削減）に資する取組状況

- ①レジ袋削減協定の見直しおよびしがプラスチックごみ削減行動宣言の実施
- ・事業者、県民団体および行政が「滋賀県におけるレジ袋の削減に関する協定」を締結し、平成25年4月からレジ袋の無料配布中止等の取組を実施。
  - ・令和2年7月からのレジ袋の有料化の義務付けや、協定のマイバッグ持参率に関する目標値と第五次廃棄物処理計画における目標値に乖離があることから、協定の見直しを進めてきた。
  - ・令和4年4月施行のプラスチック資源循環促進法を踏まえ、レジ袋以外のプラスチックごみ削減の取組についても盛り込み、協定締結者各自が「しがプラスチックごみ削減行動宣言」として協定内容の更新を行っている。
  - ・協定締結者および宣言実施者の店舗における令和4年度マイバッグ持参率（レジ袋辞退率）は、90.6%となり、計画目標を達成している。



※1 ①～③のうち該当する取組のみ宣言  
 ※2 レジ袋削減協定締結事業者は必須、これから取組をはじめ事業者は任意

- レジ袋削減の取り組みに関する協定締結者（令和4年度末時点）
  - レジ袋無料配布中止実施事業者：36者（219店舗）
  - レジ袋削減取組実施事業者：4者（220店舗）
  - 団体：11者 ○行政：18市町および県
- 滋賀プラスチックごみ削減行動宣言実施者（令和4年度末時点）  
7者（98店舗）

### ②環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

- ・3R推進月間である10月を中心に、協議会において、県内のスーパーやコンビニエンスストア等と連携し、売り場でのチラシや啓発POPの掲示等を通じてマイバッグ携帯、グリーン購入、簡易包装の推進等に係る啓発を実施。  
**【参加者】**：16事業者（73店舗）、9団体、県および16市町

### (3) マイボトルが使用可能な給水等スポット数の拡大に向けた取組状況

- ・ 関西広域連合「マイボトルスポットMAP」 事業における、県内マイボトルスポット登録事業者を対象としたラジオ等を活用した広報・啓発を実施。
- ・ プラスチックごみ削減の実践行動を促すことを目的として、啓発イベント（ブース出展、ステージでの環境クイズおよび給水スポットの設置）を2回実施。
- ・ 令和4年度のマイボトルスポット登録事業者数は前年度より41箇所増加し、97箇所となり、計画目標値まで残り3箇所となった。
- ・ コンビニや公共施設の給水スポット等の登録が増えている。



△啓発イベント会場設置の給水スポット

### (4) その他のプラスチックごみ発生抑制の推進に向けた取組状況

#### ①事業者による取組事例の収集・発信

- ・ 事業者等のプラスチックごみ削減の取組を取材し、滋賀県ごみ減量・資源化情報サイト「ごみゼロしが」で発信し、取組の奨励および横展開に繋げた。
- ・ 併せて取組事例を取りまとめた「プラスチックごみゼロ・食品ロス削減・3R削減取組事例集」を作成し、県内事業者等に配布した。

#### ②滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減等実践取組モデル事業補助の実施

- ・ 滋賀県内で行われる事業であって、「プラスチックごみ削減」および「食品ロス削減」等ごみの減量につながり、成果が他者の参考となり、波及効果や環境意識の醸成が期待されるもの等に補助金を交付。

#### 【令和4年度補助実績】

##### ➤ 事業名称：プラスチック製のアメニティ0推進事業

補助事業者：滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合

事業内容：組合加盟施設にプラスチック製アメニティを設置しないこと等を記載したメッセージカードを客室に配置し、宿泊者への啓発に繋げた。

作成したメッセージカード▷



##### ➤ 事業名称：プラスチック・リサイクル・デザイン・プロジェクト

補助事業者：NPO 法人 FootRoots

事業内容：滋賀県立大学生や企業と連携し、ペットボトルのキャップを利用して身近な物等へリサイクルするワークショップを実施した。

ワークショップのようす▷



### ③啓発資材の作成・配布

- ・ 滋賀県出身の漫画家「さかなこうじ」さん描き下ろしのオリジナルまんがリーフレット「三成さんはプラスチックの3Rを推進したい」を作成。
- ・ 子どもや若い世代を始め、幅広い年齢層に分かりやすい漫画形式でプラスチックごみの発生抑制を啓発。
- ・ 県内イベントや県内施設等で配布した。



### 3 今後の方向性

- ・ 国際的にプラスチックごみ問題解決に向けた機運が高まっている中、本県においても異なる取組の推進が重要。
- ・ そのため、令和5年10月からあらゆる主体の実践行動のチャレンジを後押しする「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」を全県的に展開する。(詳細は別紙1「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」についてを参照)
- ・ 特に、次代を担う子どもや若い世代へのプラごみ問題への意識向上やごみ削減の実践取組を促進する。
- ・ プロジェクトでは、新たな取組以外にも、これまで取り組んできた「しがプラスチックごみ削減行動宣言」の拡大やプラごみ削減の先進取組事例の収集と情報発信などを有機的に推進する。

# 「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」について

## 1. 目的・概要

プラスチックごみが及ぼす幅広い課題に対応するため、県民に対し、ライフスタイルを見直し、プラスチック代替製品の利用、マイボトルの持参などプラスチック削減に向けた実践行動のチャレンジを後押しするプロジェクトを展開する。具体的には、プラスチック削減を実践する「しがプラチャレンジの日」を毎月一日に設定し、県民の意識醸成の機会を設ける。併せて10月を「しがプラチャレンジ推進月間」とし、集中的な普及啓発を実施し、実践取組につなげる。

## 2. 実施内容

### (1) 「しがプラチャレンジの日」の創設

#### ① 概要

毎月一日を、「しがプラチャレンジの日」とし、プラスチック削減に資する行動をとる特別な日と捉え、現在の日常生活を見つめ直し、今後のライフスタイルを切り替える機会を設ける。また、毎月定期的に振り返ることで、一時的でなく、継続的な取組実施につなげる。

#### ② 創設時期 令和5年10月1日

#### ③ 主旨

これまでのライフスタイルを見つめ直し、1つ1つ、できることからステップアップしてプラスチック削減に向けた取組にチャレンジするという意味を込めて毎月一日を削減の日を選定。これまでの取組から、さらに一步踏み出すきっかけとする。

#### ④ 内容

プラスチックごみの3R（発生抑制、再使用、再資源化）やプラスチック代替製品の利用等の取組について、県が例示を挙げ、地域や事業所、家庭等で、特に「しがプラチャレンジの日」は意識してこれらの取組を実施してもらう。

### (2) 「しがプラチャレンジ推進月間」の設定

3R推進月間である10月を、しがプラチャレンジ推進月間とし、プラスチックごみ削減の実践取組に繋げるため、集中的な普及・啓発に取り組む。

【令和5年10月実施予定】

- ・ プロジェクトのキックオフ動画配信（知事出演）
- ・ 普及啓発動画の配信（プラスチックごみの現状・課題、3Rの取組等）
- ・ 第1回サーキュラーエコノミー促進啓発イベントの実施
- ・ 「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」（16事業者・17団体・国・県・市町で構成）と連携し、協議会主催の「環境にやさしい買い物キャンペーン」参画事業者の店頭において、「しがプラチャレンジの日」に係る資材（ポスター、のぼりなど）等の配架

### (3) 創設に併せた主なプロジェクトの取組（業務委託先：株式会社エフエム滋賀） 別紙2参照

## しがプラスチックチャレンジプロジェクトの概要

<プラスチックごみに関する課題>

- 生態系・人体への影響懸念
- 石油資源の枯渇や温室効果ガス排出量が増加
- 美観・景観が損なわれる

<これまでの状況>

- 2019年8月 「滋賀プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言」 (県)
- 2021年3月 「滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針」 (県)
- 2022年4月 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行 (国)
- 2023年4月 「2040年までに追加的なプラスチック汚染ゼロにする野心」  
(G7 札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合)



課題解決・目標達成のためにあらゆる  
主体の削減取組の実践が重要

## しがプラスチックチャレンジプロジェクト

(目的)

毎月一日を「しがプラチャレンジの日」に、10月を推進月間に  
設定し、各主体の実践取組を強力に支援する

- 新 動画、テーマソング、キャラクター、ロゴマーク等を活用した普及啓発
- 新 動画等による子どもを中心とした普及啓発
- 新 県庁舎への給水器設置を通じたマイボトル携帯促進
- 新 サーキュラーエコノミー促進啓発イベント
- 新 「ごみゼロしが」ホームページリニューアル
- 新 プラスチック代替製品ガイドブックの作成、周知による利用促進
- 既 しがプラスチックごみ削減行動宣言
- 既 プラスチックごみ・食品ロス削減等実践取組モデル事業補助金




毎月プラチャレ通信として、県民の方に実践していただきたい  
取組と関連する先駆的な取組 (県が支援した滋賀県旅館ホテル  
生活衛生同業組合 (以下、旅館組合) のプラ製アメニティ0推  
進事業など) を例示するとともに、取組例をリーフレットでわ  
かりやすくまとめ、プラ削減行動を促進する。

月	チャレンジ取組	取組紹介
10月	マイボトル携帯率100%を目指そう!	給水スポット情報
11月	プラ包装の少ない商品を選ぼう!	プラ代替商品などの紹介
12月	年末年始の旅行はマイ歯ブラシ!	旅館組合の取組紹介
1月	2024年はマイカトラリーで!	職員のマイカトラリーの紹介
2月	循環型ショッピングにチャレンジ!	イオンのLoopの取組紹介
3月	混ぜればごみ! 分ければ資源!	プラ再生商品の紹介
4月	事務用品も脱プラチャレンジ!	紙クリアファイルなどの紹介

プラチャレ通信イメージ



## しがプラスチックチャレンジプロジェクト普及啓発取組概要

## 1 取組一覧

	内容	方法・イメージ図	実施 時期
キックオフ 動画	三日月知事出演のプロジェクトキック オフ動画を作成し、全県的な周知を図 る。	・ YouTube 掲載 	「しがプラチャレンジ推進月間」(10月)で実施
テーマソ ング配信	幅広い層になじみやすい「音楽」を活 用し、啓発動画を作成するなどにより、 「しがプラチャレンジの日」の浸透を 図る。	・ ラジオ CM ・ SNS 広告 ・ キックオフ動画 BGM 	
オリジナル キャラクタ ー動画配信	オリジナルキャラクターを作成し、 VTuber として動画(2本)に出演する ことで、インパクトを持たせながらわ かりやすくプラごみの問題、身近な取 組を啓発する。  【キャラクター名】 挑一(ちょういち) プラごみ削減に挑戦する子ども、二 日をイメージ	・ YouTube 掲載 	

<p>ロゴマーク作成、リーフレット配布</p>	<p>一日、マイボトル、MLGsなどを想起させるロゴマーク※を作成し、「しがプラチャレンジの日」を统一的に周知する。学校等向けのわかりやすい取組事例を記載したリーフレット（数万部）を作成し、県民の取組を促進する。</p> <p>※ロゴマークはMLGsの達成（特にゴール4,7,13）に貢献する取組であることから、MLGsの配色を用いている。</p>	<p>・学校等に配布</p> 	
<p>子ども向け動画・パネル作成</p>	<p>オリジナルキャラクターなどを活用して、子ども向けの動画、パネルを作成し、啓発する。 淡海環境プラザでの展示等で活用。</p>	<p>・YouTube掲載 ・パネル展示</p> 	
<p>県庁舎への給水器設置</p>	<p>県庁舎に給水器を設置し、職員や県民の一層のマイボトルの持参・プラスチックごみの削減を促進する。</p>	<p>・県庁舎に設置</p> 	
<p>サーキュラーエコノミー啓発イベント</p>	<p>スーパー等で製造者と連携し、プラごみ削減等に取り組む製造者と県民をつなぎ、資源循環に配慮した消費活動を促す。</p> <p>①10月28日（土）味の素（アルプラザ野洲） ②11月12日（日）花王（ディオワールド草津） ③1月14日（日）味の素AGF（イオンモール草津）</p> <p>※③は食品ロス削減優良取組表彰（知事表彰）表彰式と同時開催</p>	<p>・計3回イベント実施 ・製造者のブース出展等による取組紹介等</p> 	<p>10月～1月</p>



ホームページリニューアル	「ごみゼロしが」ホームページをリニューアルし、日常生活でできることなどをわかりやすく周知する。 リニューアル後の名称は、「しがプラチャレンジの日」を踏襲した「ごみゼロチャレンジしが」とする。		1月公開
プラスチック代替製品ガイドブック作成	県内のプラスチック代替製品の事例を紹介する冊子(400部)を作成し、代替製品の利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子配布</li> <li>・ラジオCM</li> </ul> 	未定

その他、広報課と連携し、しがプラスワン等による広報や関係団体と連携した子ども向けの広報も実施予定。

また、本プロジェクトでは、上記の新たな取組以外にも、これまで取り組んできた「しがプラスチックごみ削減行動宣言」の拡大やプラごみ削減の先進取組事例の収集と情報発信などを有機的に推進する。

## 2 その他

- ・9月知事定例記者会見において、「しがプラチャレンジの日」創設について発信。

## 3 事業スケジュール

	6月	7月	8月	9月	強化月間		11月	12月	1月～
					10月				
キックオフ動画	内容調整	撮影・編集				動画配信			
テーマソング配信	内容調整	録音・編集				ラジオCM・動画配信			
オリジナルキャラクター動画配信	内容調整	撮影・編集				動画配信			
ロゴマーク作成、リーフレット配布	内容調整		印刷			配布			
子ども向け動画・パネル作成	内容調整		動画撮影等			動画配信・啓発			
サーキュラーエコノミー啓発イベント	会場・製造者調整		実施内容調整			実施(月1回)			
県庁舎への給水器の設置		設置の調整				給水器設置			
ホームページリニューアル	デザイン・項目調整			各ページ作成			1月公開		
プラスチック代替製品ガイドブック作成		事例情報収集		内容調整			冊子印刷・配布		